

研修報告書

平成 27年 2月 7日
場所 K S P会議室

研修題目 子どもの経験を捉える視点から保育環境と考える
講師名 箕輪、潤子氏(川村学園女子大学)

研修内容・学んだ事・感想
内容

子どもの経験を捉える視点から保育環境を考える。

保育の質を規定する要因

政策の面では

【環境の構成】

- *職員教育・資格・賃金
- *子ども・職員の比率・構成
- *保護者からの地域の参加関与
- *保育・教育のプログラムの実施運営管理
- *園の評価・モニタリング

【保育家庭】

職員（子どもへのかかわり知識・技術・判断）

保育・教育方法とカリキュラム

物理的環境（物の配置・素材・教材・環境の再構成）

「資格」を取得した後の環境で・また、本人の考え方でその先が大きく変わってくる現状がある。
たとえば、勤め先の法人の考え方。研修に行く体制があるか？自己研修に行かれる余裕があるか。勤務体制や人員の配置にも関係してきたり、保育士のスキルアップに大きく関連する所である。

子ども

【家庭】

家庭・地域社会

社会経済的地位・精神健康・家庭の教育資源

上記の中で、本日は「保育過程」を中心に持ってきて頂いたものを題材にしていくようにしたいとの事で

進められた。

保育士の関わり、環境構成の意図、今後の課題などを踏まえながら、話ををしましょうという事で、かなりながい時間を費やし話こんだ

グループ構成は、坂戸2名・こぐま2名(ほかのグループは3名)

坂戸からは、偶然同じ環境の写真が1枚あった。いご組の絵本スペースであるが絵本の前でごろごろスペースが確保されている。

こぐまからも共通の2名があった、ホールに設置された巧技台であった。

もう一枚は、一時保育士室の写真であった。

その中から選んだ理由。

安全・今後の課題・関わり方

などなど自由に意見を話し合う。

それぞれ、どうしてそのように環境設定をしているのか、ただ置いてあるわけではないという事が確認し合える話し合いであった。

その後、各グループの話し合いの報告を簡単に発表したけど、その中で興味深かったのは、その遊びを通しての動線を考えたり、その導線を変えることで遊びも変わる。また、それに遊びを選ぶ事が出来るなど。子どもが最終的に選ぶ事が大事などである。

子どもをどのように見て関わるのか、物的環境をどうとらえて意欲や創造性、自分で選ぶ・年齢・集団か個人かによっても変わってくる。

ひとつ気になったグループの発表もあり、「片づけについて」マルチパーツを、いくつを重ね、色でまとめ見た目のきれいさを子どもに知らせていく事が大事という言葉であった。

それは、年齢や保育士の意図(教育的部分と取り入れて)ということであれば必要である所でもあると思うが、「きれいに」こだわりすぎて、片づけに力を入れることはどうかなとかんじた。

講師の視点からは、片づけは、心の区切りととらえるという意味があるという返答があり、そこから保育士がどうとらえたかが問題になってくると感じているという事であった場面や年齢などで大きく関わり方が変わってくる。発表されたグループのところは「きれい好き」の保育が揃っていたようですねとの感想を持たれていた。

改めて誰もいない保育士室を見回り、一つ一つを確認する良い機会であった。

各クラス、現時点の子ども発達との動線を考えての環境設定であるとは思いますが

数や置き方には「これでいい」というもの難しく保育士の価値観も違うので更に難しくなると考えられる。

それには、職員同士の話し合いや連携、報告連絡相談も必須となる。クラスだけでなく保育園全体としてという事にも広がると考えている。

今回の研修では、研修冒頭で

「資格を取ってからのステップアップをどう捉えるか」

勤めた先の職場の考え方で大きく、保育士としてのその先が変わっていくところである。

職場、例えば法人が研修に参加させる体制にあるか、どのような研修に参加するのか、また自分から向上したいという研修会へ参加の意欲があるかなどなど。

これをお聞きし、尚徳福氏会は研修に参加させていただく事が非常に多く設定されていると思う。しかも、勤務外の研修も時間外勤務として手当が出たり。それを当たり前と受け止めている職員もいる。当然研修記録として提出しているが。

公立職員は夜に設定されたものについて自己研修として自らの研修参加としている。

実費が必要なものはもちろん自己負担である。

研修参加が「時間外手当が出るから」という気持ちがないとも言いきれないが、それでも出席しようという意思や意欲があると前向きに受け止めるように考えるようにしたい。

他県への遠い場所への研修も含め、尚徳福社会から沢山の研修機会参加をいただいている事に感謝いたします。

他園の保育環境を含め、いろいろ視野が広がりました。また、課題も見えましたので保育園にも持ち帰り早速工夫出来るところから、見直しをしていきたいと思えます。